



「経済産業省認定GNT企業」

フロイント産業株式会社

個人投資家様向け会社説明会資料

JASDAQ

(証券コード 6312)

2016年2月期

第1四半期版

目次

I.	当社の概要	P2
II.	中期経営計画の進捗状況について	P11
III.	2016年2月期の業績予想及び株主還元	P22
	＜参考資料＞	P27

Ⅰ. 当社の概要



〈社名の由来〉

フロイントはドイツ語で“友達”を意味します。当社の創業者（現取締役ファウンダー）が創業の構想を友人と考えていたとき、社名の話になり、二人はFreund（友達）であったので、フロイントと名づけました。
当社ロゴは、“友”という文字のくずし字をデザイン化したものです。

フロイントのモットー
創造力で未来を拓く

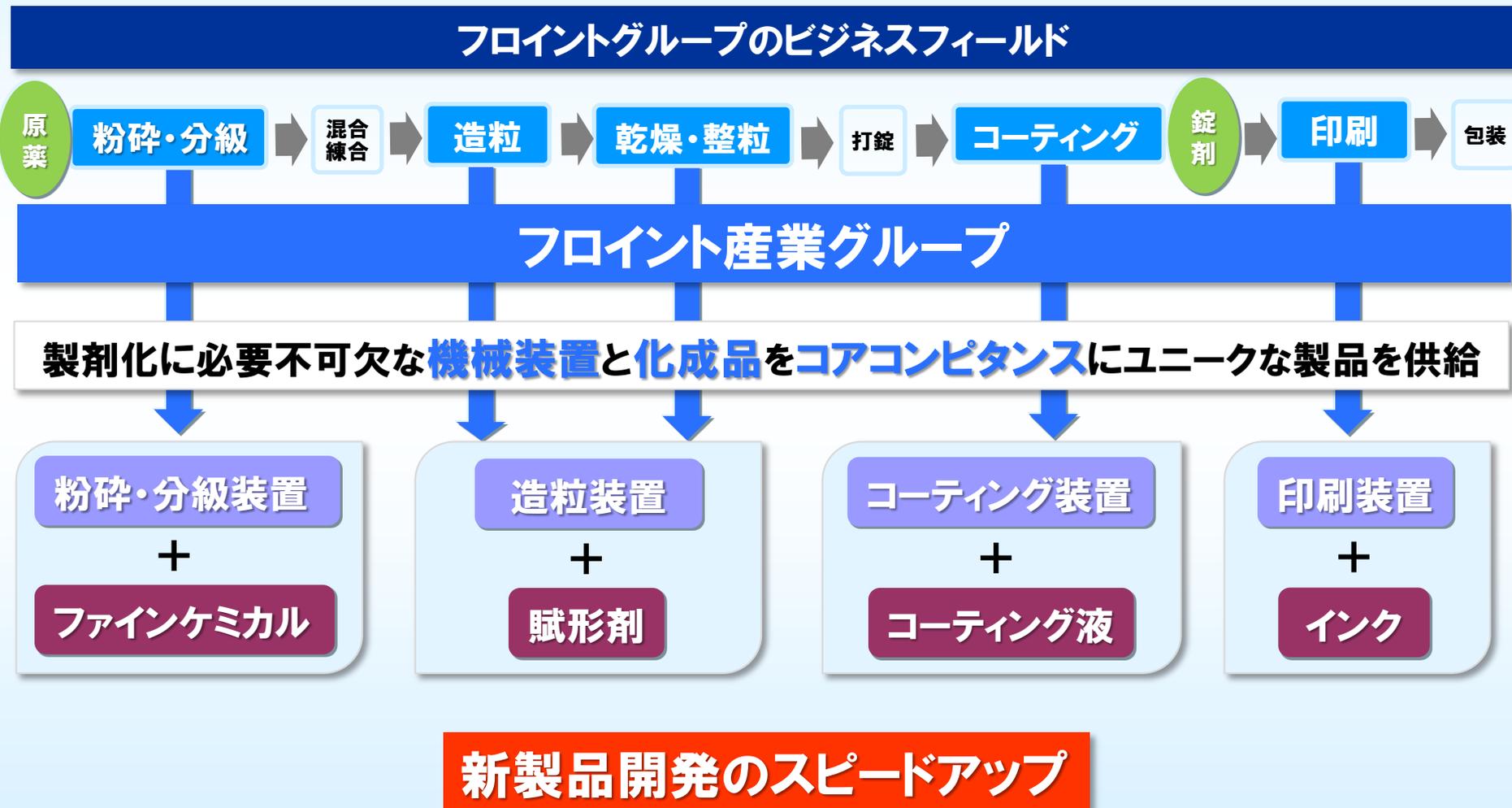
- 独創性豊かな製品の創造
- 先見力で新しい市場ニーズの創造
- 組織を活性化する経営基盤の創造
- 困難に立ち向かうチャレンジ精神の創造
- 潤いのある人間関係の創造

当社グループは、“100年企業に向けた第2の創業へ”
本格的な第一歩を踏み出しましたが、“一体感”のある
事業経営“を更に強化していく方針です。

当社グループのビジネスフィールド

【医薬品関連ビジネスモデル】

〈下記の図は医薬品製造ラインのイメージです。〉



ビジネスモデルの特徴はペンとインク

機械部門

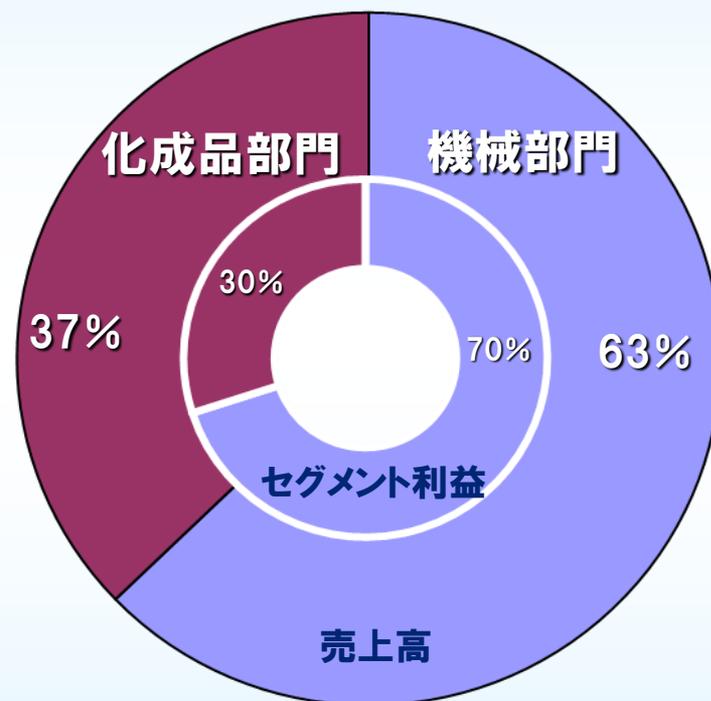
- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売。
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する。
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力。

化成品部門

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP(*)対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化。

(*)GMP: Good manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成



(2015/2期)

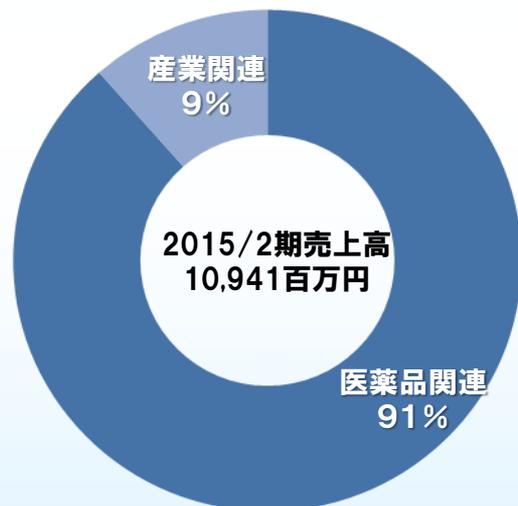
連結売上高 174.2億円

連結営業利益 11.5億円

医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

- 機械部門は、製薬業界向けが91%、産業機械向けが9%。
- 医薬品会社向けの造粒装置やコーティング装置が主力。
- ファインケミカル・食品など産機向けも注力中。

向け先別売上構成 (2015/2期)



シームレス ミニカプセル装置 (スフェレックス)



自動錠剤コーティング装置 (ハイコーター FZ)



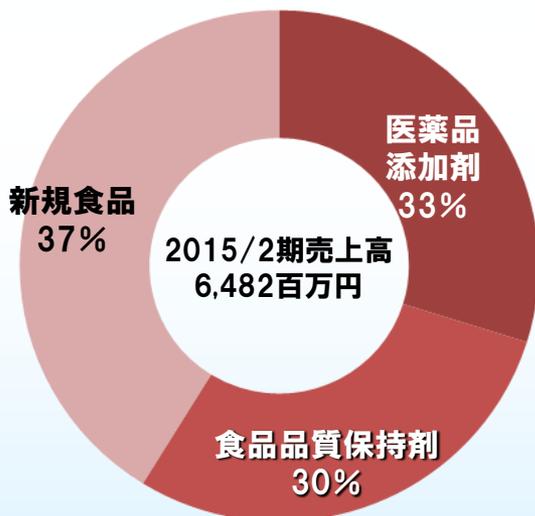
流動層造粒装置 (フローコーター)



ヘルスケア関連も拡大する製品群

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などの受託品が約1/3
- ジェネリック薬向け医薬品添加剤の拡販が続く
- 小口ユーザー向けインターネット販売を開始
- サプリメントの共同研究・開発・受託製造

化成品事業の売上構成



医薬品添加剤

- 直打用マンニトール・乳糖
- 球形顆粒
- 吸着剤・固形化剤・流動化剤
- 白色着色剤
- 滑沢剤
- 光沢剤
- 賦形剤



食品品質保持剤

- 食品添加剤
- 食品品質保持剤



栄養補助食品・他

- シームレスミニカプセル
- AQshelax(水性シェラック液)
- サプリメント
- コエンザイムQ10(40%水分散型粉末)



エリア分担のグローバル展開

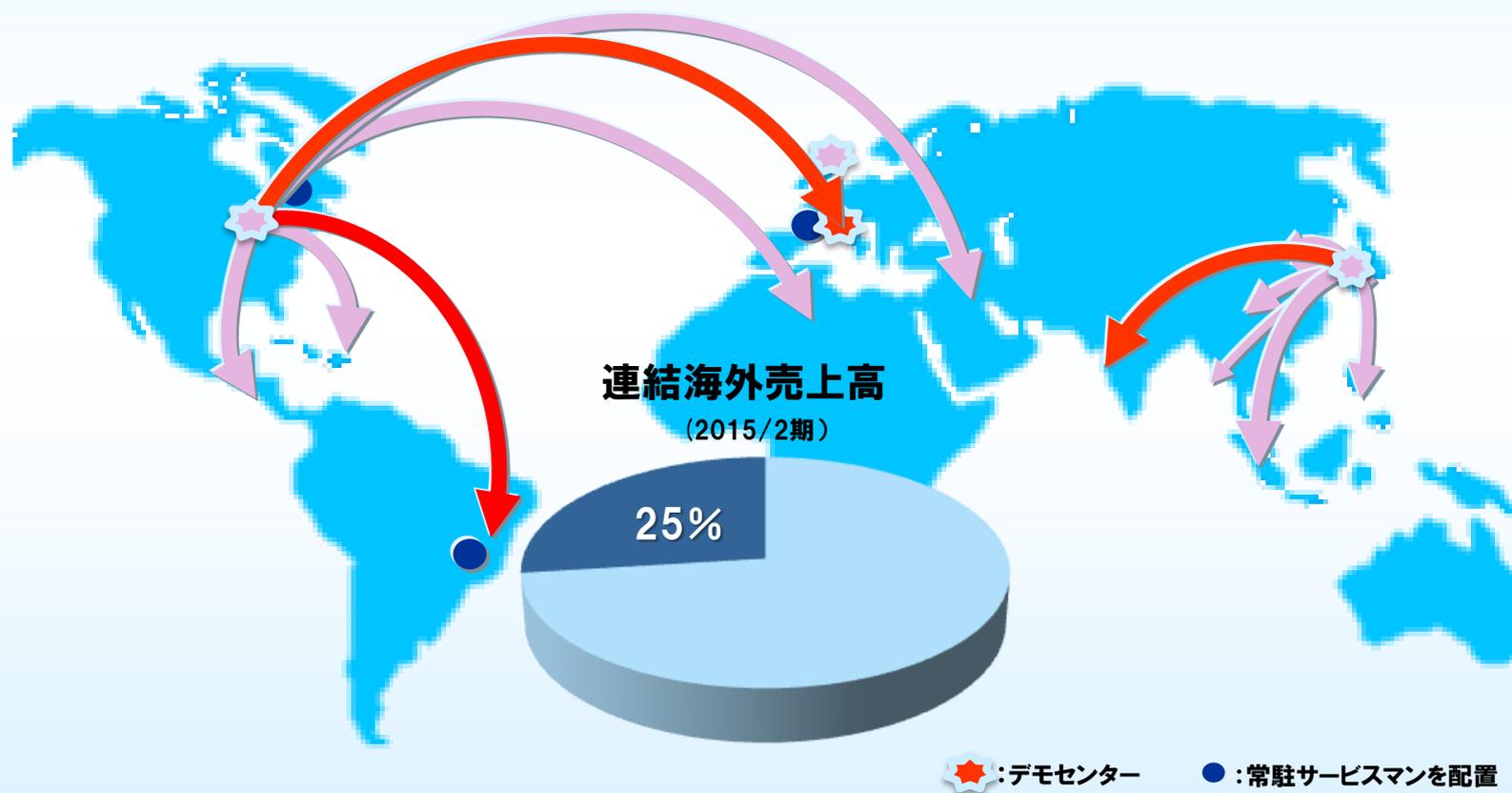
FREUND-VECTOR社

【北米・南米・欧州・中東エリア】

フロイント産業

「経済産業省認定GNT企業」

【アジアエリア】



技術開発研究所の独創的な開発が収益の源泉

独創性豊かな提案

- 研究開発型企業として、医薬品、食品業界などのニーズにこたえる製品開発に注力しています。
- 機械工学、薬学、電子工学、応用化学、生化学などのエキスパートたちが、産業界で最先端を行く独創的な製品を、数多く市場に送り出しています。
- 6名の博士号取得者、12名の薬剤師が在籍しています。

確かな技術

- 技術開発研究所は、すべての機械、化成品のシステムソリューションをそろえており、**ユーザーのアプリケーションテストに対応**しております。
- ユーザーとの技術交流、共同研究の場である技術開発研究所において、私たちは常に最先端の技術開発を模索しております。

独創的技術は世界へ

- 独創的な技術と製品をベースに、国内・国外で出願数を含め、**300件以上の知的財産権を保有**。2014年1月以降、公開された**国内特許は14件**。また、企業特許力指数YK値(*)は、機械セクターユニバース194社中、63位(JQは35社中、6位)です。
- 特許戦略は、今日の業績に大きく寄与するとともに、「FREUND」ブランドとして国際的に高い評価を得ることに繋がっております。

(*):工藤一郎国際特許事務所算出(2015/2期)



II. 中期経営計画の進捗状況について

第六次中期経営計画

「100年企業に向けた第二の創業へ
Change & Challenge」

数値目標

海外売上比率40%

売上高営業利益率10%

ROE8%以上

最終年度2017年2月期:売上高 230億円
営業利益23億円

基本戦略テーマ

One for All, All for One

創造的成長の実現

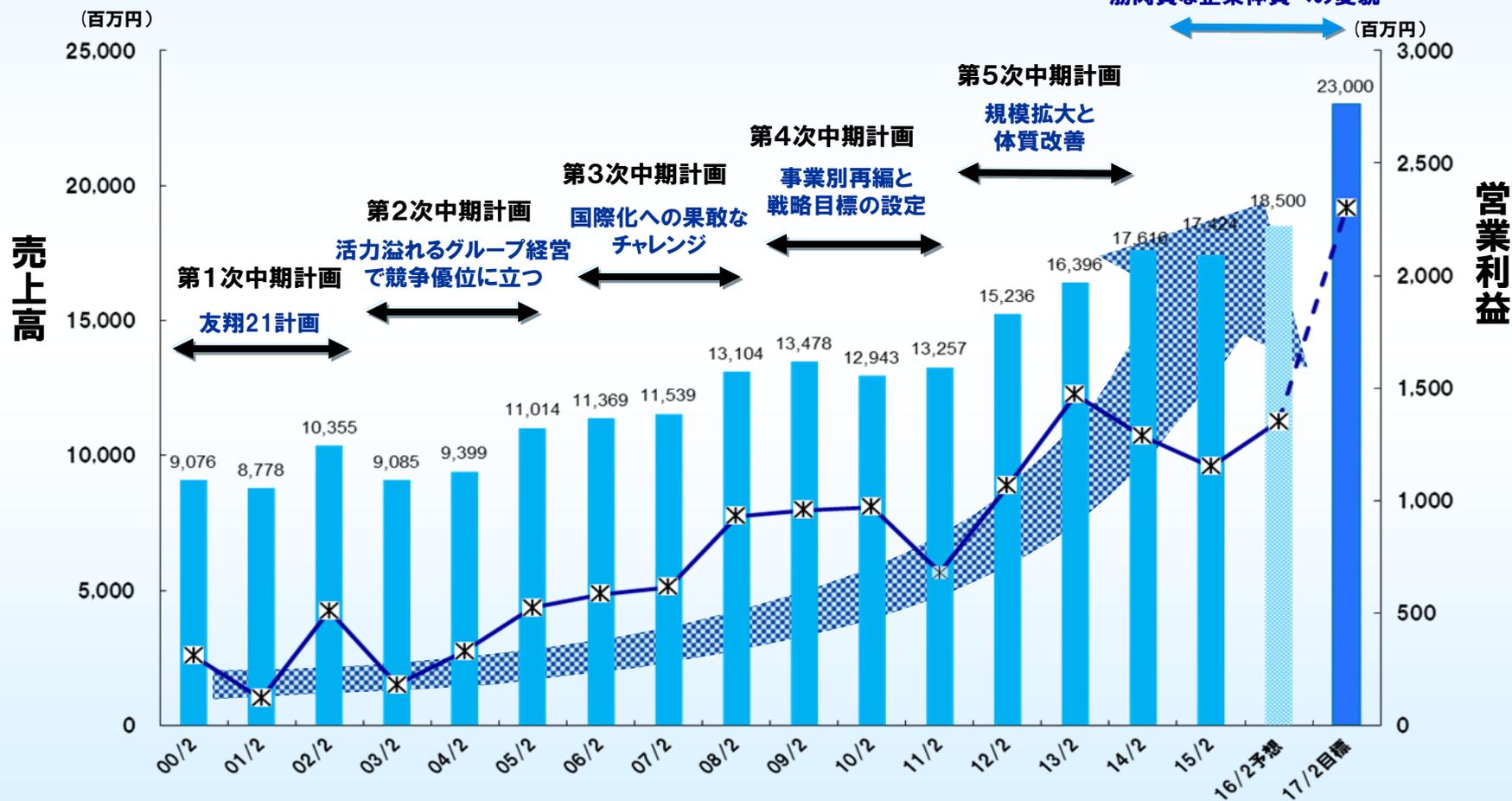
- 市場伸長に過度に依存しない成長体質の構築
- 海外市場の本格的な取り込み
- グループ資源の有効活用による新製品開発加速と製品力の更なる強化
- 製品ラインアップの拡充

筋肉質な企業体質への変貌

- 挑戦的風土の確立と人材育成
- 開発及び生産プロセスの更なる改良
- 企業価値最大化を図る組織改革
- 総コスト削減による利益の最大化

2017/2期目標

〈2017/2期目標〉
 ■ 売上高 230億円
 ■ 営業利益 23億円
 (為替前提：USD:100円、€:145円)



事業環境想定・・・世界医薬品市場は途上国が急拡大

2017年の世界の医薬品市場は
2012年比20%超の増加へ

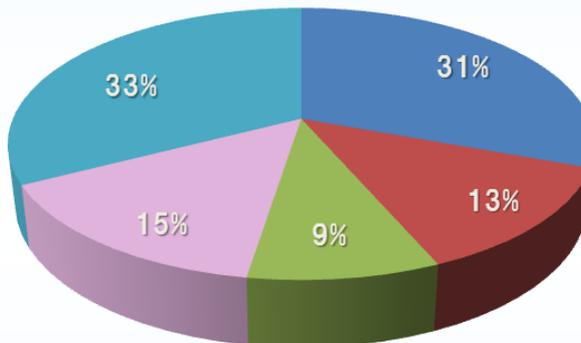
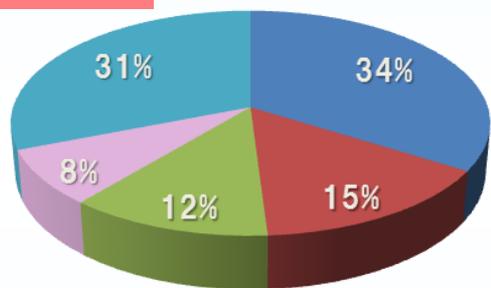
2012年

96.5兆円

2017年予想

117～120兆円

地域別市場



■米国

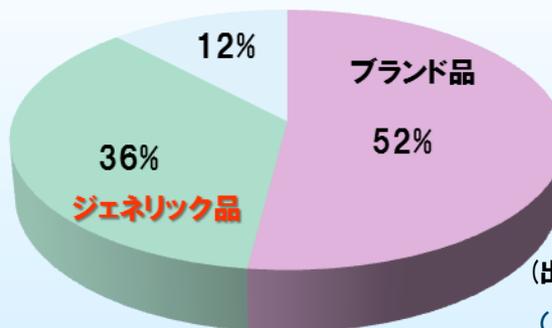
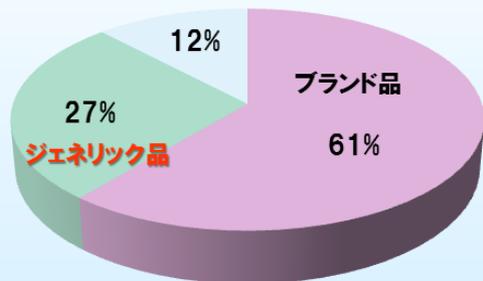
■EU5

■日本

■中国

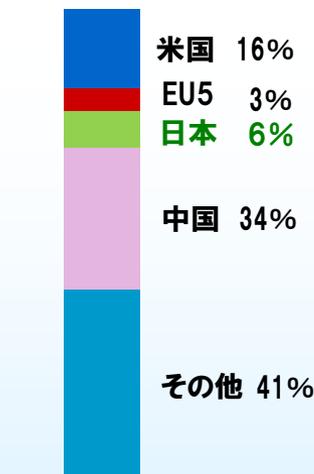
■その他

ジェネリック品構成比



2012 ⇒ 2017
増加額

+23～26兆円



(出所) IMS Market Prognosis, September 2013

(市場規模は1ドル=100円で換算)

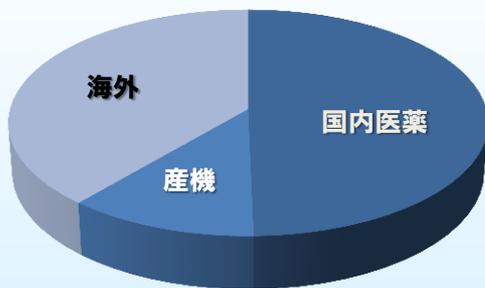
事業部別重点戦略①

機械部門

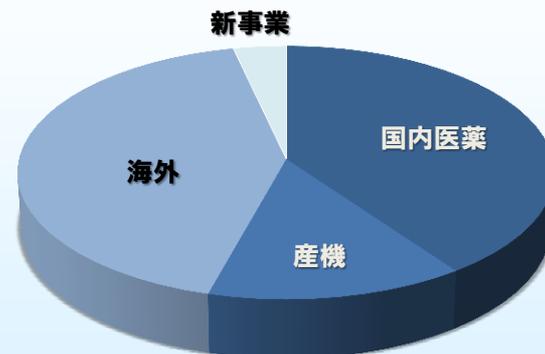
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 : 競争力強化
- アジア : 中国、インドに戦力集中
- 米州 : 新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 : スマイリーエリアでの販売強化(ミラノテスト場の活躍)
- 産機 : 健康/食品向け強化と電池業界ニーズへの対応
- 開発 : ユーザーニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ
- 生産 : フロイント・ベクターの増設工場の本格稼働

14/2期
110億円



17/2期計画
142億円



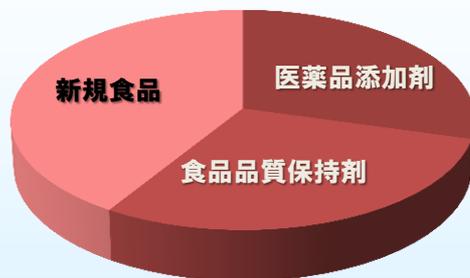
事業部別重点戦略②

化成品部門

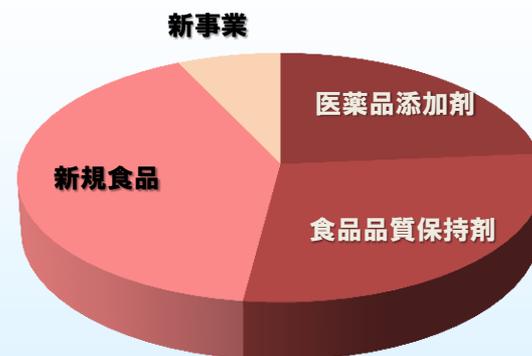
・・・新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : 新規先発・GE薬のシーズ(種)の取り込み
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規案件の継続開発
- 食品品質保持剤 : 製品ラインアップの拡充と営業の強化
- 開発 : スピードアップと最低年間で1品目上市
- 生産 : 生産拠点統合やライン共有化でコスト削減

14/2期
66億円



17/2期計画
88億円



グローバル戦略③

海外市場の取り込み

重点ターゲットエリア

国市場拡大の途上国

スマイリーエリア

	2003年	2011年	2016年予想
1	米国	米国	米国
2	日本	日本	中国
3	ドイツ	中国	日本
4	フランス	ドイツ	ブラジル
5	イタリア	フランス	ドイツ
6	英国	ブラジル	フランス
7	スペイン	イタリア	イタリア
8	カナダ	スペイン	インド
9	中国	カナダ	ロシア
10	ブラジル	英国	カナダ



- ・FREUND-VECTOR社の工場増設
- ・フロイント・ターボ社製品取扱開始

- ・ミラノのデモセンターラボ稼働(2014/11月)
- ・中国の日系企業への重点営業
- ・韓国での新代理店候補開拓

- ・インド代理店との連携営業実施
- ・インドユーザーから生産機受注

・ブラジル顧客開拓に向けたトップセールス

中計の進捗状況①(受注動向と新製品開発)

前期の進捗



②新製品開発動向

流動層造粒乾燥コーティング装置 「フローコーター 高速造粒モデル」



- ・新たな造粒プロセスを採用。
- ・攪拌混合性を最適化。
- ・スプレー工程時間を大幅短縮化。

連続造粒装置 「グラニューフォーマー」



- ・日本で初めて開発した連続式造粒装置。
- ・「スパイラルドライヤー」が連続造粒を可能とする。
- ・医薬品製造時の品質や生産性向上に貢献。

粉砕機「Vターボ®」



- ・高速回転する粉砕ディスクに発生する気流、及びライナー間の衝撃力で原料を粉砕。内蔵した分級ローターの回転数変更により希望粒度の製品を得ることが可能。
- ・空気を同伴しながら循環して粉砕するため、粉砕時の発熱を抑え、食品等の熱に敏感な原料の粉砕にも対応。

中計の進捗状況②(グループ資源の有効活用)

製品のコラボレーション

	開発	販売
グラニュレックス	F	F、F-V
スフェレックス	F	F、F-V
Compu 4 (制御システム)	F-V	F、F-V
フローコーター 12bar	F-V	F、F-V
ターボスクリーナー	F-T	F・T、F-V

F:フロイント産業 F-V:FREUND-VECTOR F・T:フロイント・ターボ

ハイコーター FZ

・生産時間の30%短縮を実現。



“爆発放散口のない”流動層造粒乾燥機 フローコーター 12bar

- ・万一の爆発時でも、容器内に爆発圧力を封じ込めることが出来る装置。
- ・これまでは労働安全衛生規則により爆発放散口の設置義務があったが、厚生労働省から認められ、日本で初めて爆発放散口のない装置を大手製薬会社に納入。

ターボスクリーナー

- ・粉体原料を効率良く、ふるい分けする分級装置。



グラニュレックス

- ・粉末・細粒の表面に精密なコーティングが可能でDDS製剤に最適。



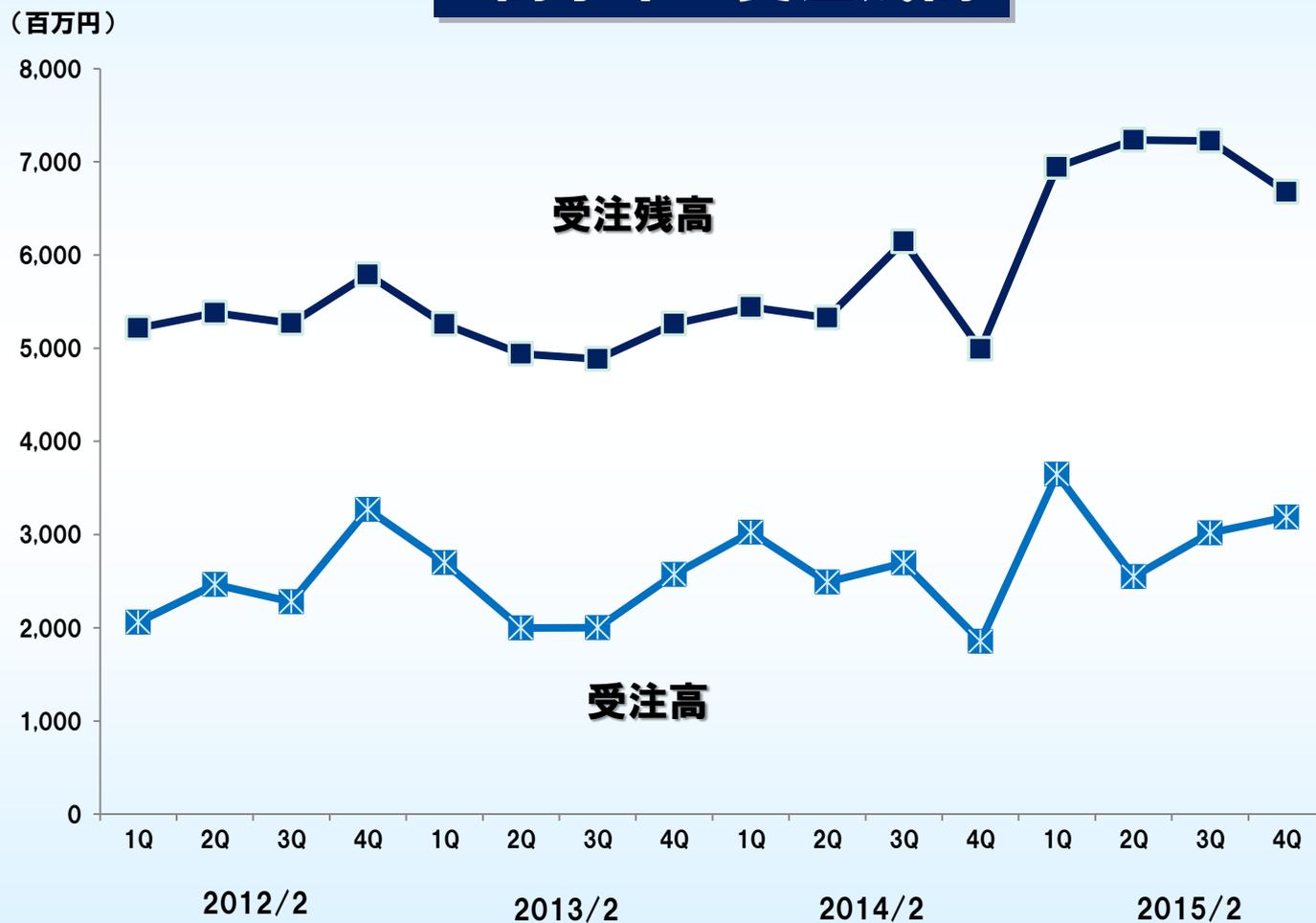
今期の重点取り組み

- 海外受注強化策の深耕
- グループ技術の融合強化
- 新製品の市場投入と製品ラインアップ追加
- 産機のシナジー追及
- メンテナンス事業の本格立ち上げ
- ジェネリック薬向け医薬品添加剤の営業強化
- 食品品質保持剤ラインの最適化

III. 2016年2月期の業績予想及び株主還元

機械部門の受注動向

高水準の受注残高



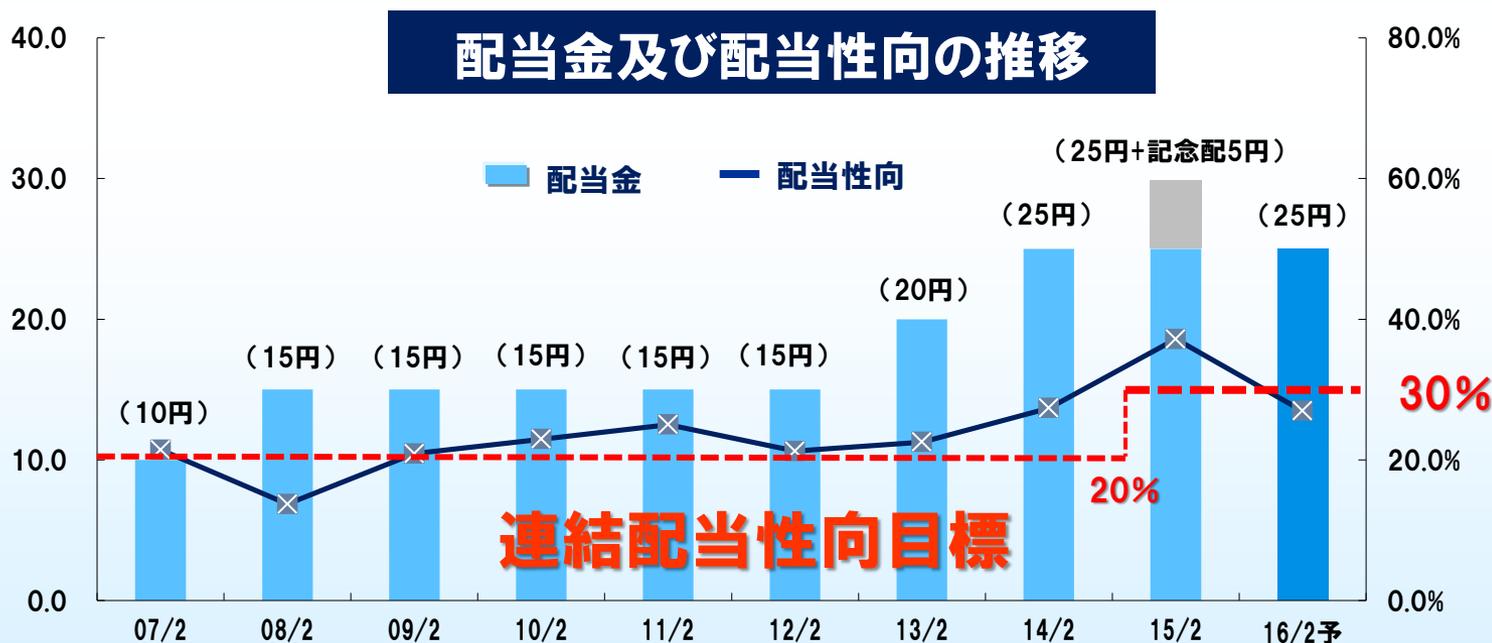
2016年2月期予想

- 機械事業の伸長で化成品の落ち込みを吸収し、収益回復を見込む。

	2015/2期	2016/2期(予想)	前年比増減	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	%
売上高	17,424	18,500	+1,076	+6.2
営業利益	1,150	1,350	+200	+17.4
経常利益	1,249	1,370	+121	+9.6
純利益	695	800	+105	+14.9
一株純利益	80.72	92.78	+12.06	
設備投資	545	600	+55	
減価償却費	308	325	+17	
研究開発費	592	600	+8	

株主還元 ①配当方針

- 利益配当は、業績に応じた成果配分を行うことを基本としています。経営基盤の強化や将来の事業拡大を見据えた内部留保の充実が進んだことを踏まえ、前期から年間の連結配当性向目標を従来の20%から30%に引き上げました。
- 2016年2月期末の配当金は25円を予定しています。



株主還元 ②株主優待

前期より株主優待制度を導入

中間期末株主様に
「オリジナル・クオカード」を謹呈しています。



【2015年2月期の優待品】

【優待内容】

所有株式	贈呈内容
100株以上	クオカード 1,000円分

(毎年8月31日現在、1年以上の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有している株主様が対象)

(参考資料)

- 1.プロフィール
- 2.四半期業績推移
- 3.製品開発の歴史

プロフィール

- **社名** : フロイント産業株式会社
 - **設立** : 1964年4月
 - **代表者** : 代表取締役社長 伏島 巖
 - **所在地** : 東京都新宿区大久保 1丁目3番21号
 - **資本金** : 10億3,560万円 (2015年2月末現在)
 - **売上高** : 174.2億円 (2015年2月期:連結)
 - **従業員数** : 社員数 370名 (2015年2月末現在:連結)
 - **事業内容** : 機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業・・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
 - **関連会社** : FREUND-VECTOR CORPORATION、FREUND PHARMATEC Ltd.、
フロイント・ターボ株式会社
-

四半期業績推移

(単位:百万円)

	2013年2月期				2014年2月期				2015年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
機械部門受注高	2,699	1,998	2,002	2,572	3,026	2,491	2,696	1,853	3,648	2,549	3,016	3,192
機械部門受注残高	5,260	4,938	4,883	5,263	5,440	5,328	6,144	4,991	6,945	7,235	7,225	6,678
連結売上高	4,728	3,950	3,886	3,830	4,656	4,224	3,545	5,189	3,506	3,864	4,641	5,413
機械部門	3,240	2,376	2,078	2,219	3,048	2,684	1,933	3,337	1,794	2,249	3,106	3,792
化成品部門	1,487	1,574	1,808	1,611	1,608	1,540	1,611	1,851	1,711	1,617	1,534	1,620
連結セグメント利益	494	399	347	228	562	281	156	286	△20	121	484	565
機械部門	419	309	234	209	496	262	166	316	47	78	487	496
化成品部門	142	156	180	85	162	94	67	54	80	113	129	151
全社、消去	△68	△66	△69	△65	△97	△74	△78	△85	△149	△68	△132	△83
為替(円/ドル)	79.3	79.7	79.4	79.8	92.4	95.7	96.8	97.7	102.8	102.4	102.93	105.79

(注)為替は、暦年ベースの四半期平均。

製品開発の歴史

	機械	化成品
1964	自動フィルムコーティング装置	フィルムコーティング液
1965		HPC、HPS
1966		パーフィラー-101、ラブリワックス-101
1967		CMEC
1969	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター〉	
1970	乾式造粒装置〈ローラーコンパクター〉	
1971	自動糖衣・フィルムコーティング装置〈ハイコーター〉	
1972		イチゴ用食品品質保持剤〈アンチモールド-101〉
1975	遠心流動型コーティング造粒装置〈CFグラニューレーター〉	医薬品添加剤〈ダイラクトーズ〉
1978		食品品質保持剤〈アンチモールド-102〉
1981	複合型流動層造粒コーティング装置〈スパイラフロー〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-101〉
1982		医薬品添加剤〈ノンパレル-103〉
1983	〈水分活性測定器〉	
1987		多機能型食品品質保持剤〈ネガモールド〉
1988	水系コーティング装置〈アクアコーター〉	栄養補助食品〈活性化イチヨウ葉エキス〉
1990	製剤工程自動制御システム〈ファーマトロニクス〉	
1991	シームレス ミニカプセル装置〈スフェレックス〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-105〉
1994	粒子形状測定装置〈グラニュトロニクス〉	
2000	遠心転動造粒コーティング装置〈グラニュレックス〉	
2001	ロータリー式流動層造粒乾燥装置〈テクトランサー〉	
2002		エタノール蒸散持続型食品品質保持剤〈アンチモールド・テンダー〉
2003		食品用コーティング基剤〈水性シェラック液〉、食品添加剤〈パーフィラー-102〉
2005	ツインスクリー式乾燥造粒機〈ローラーコンパクター〉 アンチモールド自動検知器〈アンチモールド デテクター〉	
2006	食品・健康食品用全自動コーティング装置〈ハイコーター-FPC〉	医薬品添加剤〈ノンパレル108〉、医薬品添加剤〈ポリシングワックス-105〉 食品添加剤〈ポリシングワックス-104〉
2008	キトサンコーティング技術開発 自動錠剤コーティング装置〈ハイコーター-FZ〉	
2009	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター-Universal〉 粉粒体輸送用コンテナ洗浄装置〈コンテナ洗浄装置〉	
2010	高速攪拌造粒装置〈グラニューマイスト〉 湿式/乾式造粒機〈ミルマイスト〉	医薬品添加剤〈グラニュトール〉 食品添加剤〈フーズガード〉
2012		食品品質保持剤〈ネガモールドナチュラル、ネガモールドライト〉
2013		食品添加剤〈マルチトールグラニュー〉、〈イソマルトグラニュー〉 直打用乳糖〈ダイラクトーズF(ファイン)〉
2014	錠剤印刷装置〈TABREX〉	

IRサイトからいつでもお問い合わせください

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。

当社のIRサイト(株主・投資家情報) <http://www.freund.co.jp>

The screenshot displays the Freund website's Investor Relations page. At the top, there is a navigation bar with the Freund logo, a search bar, and links for 'お問い合わせはこちら', 'サイトマップ', 'アクセス', and 'ENGLISH'. Below this is a main menu with categories: 'ホーム', '会社情報', '製品情報', '研究開発', '株主・投資家情報', and '採用情報'. The '株主・投資家情報' section is active, showing a sub-menu with 'IRニュース', '経営方針・体制', '株主・投資家の皆様へ', '財務・業績', '株式情報', and 'IRライブラリ'. The main content area features three tiles: '財務・業績' (Financial Performance), 'トップメッセージ' (Top Message), and '株主・投資家の皆様へ' (To Our Shareholders and Investors). Below these is an 'IRニュース' (IR News) section with a list of recent news items, including '第51回 定時株主総会のお知らせ' and '2015年2月期 ファクトブック'. On the right side, there is an 'アクセスランキング' (Access Ranking) section and a '株価情報' (Stock Price Information) section with an external link.

フロント産業株式会社
管理本部 広報・IR室

TEL:03-5292-0256
E-Mail: ir@freund.co.jp